

令和4年分

児童養護施設・乳児院へのプレゼントの報告書

「4つの基金」「区長におまかせ」のいずれかに寄附をしていただいた区民の方、区外の方でお礼の品を辞退された方は、お礼の品相当額（寄附金額の3割相当）を区内の児童養護施設等へプレゼントできます。令和4年分（1月～12月）は総計498万5千円（前年比132万4千円増）になりました。

令和5年2月1日に贈呈式を行い、杉並区内共通商品券を7つの施設に贈呈しました。

施設から、感謝の言葉とプレゼント活用の報告がありましたので、寄附をしていただいた皆様にお知らせいたします。

※プレゼントを杉並区内共通商品券とすることで、物品の購入を通じて地域の活性化にも役立っています。

各施設で工夫を凝らして、プレゼントを役立てています

救世軍世光寮

～子どもたち一人ひとりを理解し、分け隔てなく接し大切にします～



保護者のいない児童、虐待されている児童など、環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、併せて退所した者に対する相談その他自立のための援助を目的とする施設です。（2～18歳、場合によっては20歳）

- プレゼントの使い道 ●
エアコン、炊飯器、洗濯機、シュレッダー

炊飯器が新しくなり、子ども達が炊き立てのご飯を食べたら「今までのごはんよりも美味しい！！」との嬉しい感想。炊飯器が変わるだけでお米の味がこんなに違うのかと感動していました。炊き上がりがもちもちしてお米の甘みをしみじみ味わっています。いろいろなモードがあるので、今日はどの炊き上がりにしようかと楽しんでいます。

子ども達は新しい家電がくると、まるで部屋が新しくなったかのように喜びます。子ども達にとっては、キラキラした新しいおもちゃのように感じられるのではないのでしょうか。

生活環境を丁寧に整えることが、子ども達の心の安定にも繋がることと思います。皆様の温かいご支援に感謝し、職員一同より良い支援を目指し専心していきたくと思います。

東京家庭学校

～「あかるく、のびのびと」、そして「やさしく、たくましく」～



本校は、我が国近代社会事業史上の先覚者、留岡幸助により、キリスト教精神に基づいて、1899年に民営の感化院として創設された児童福祉施設です。当初は代用感化院という位置づけでしたが、時代の推移につれて少年保護施設、養護施設、そして現在は児童養護施設に至っております。(2～18歳)

● プレゼントの使い道 ●

自転車、ヘルメット、掃除機、空気清浄機、布団、おもちゃ、畳替え費用など

コロナ禍で3年間全く施設での全体行事ができず、うずうずしていましたが、今年度は、購入した自転車で夏休みに山中湖まで(100km)サイクリングしたり、小学校の体育館を借りて大運動会をしたり、各生活単位で得意料理を持ち寄って屋上庭園で大食事会したり、さらには「文化祭」と称して練習を積み重ねてきた合唱や合奏・劇の発表をしたり、施設ならではの楽しい行事の費用の後押しとして利用させていただきました。

また、新園舎完成に伴って必要となった品や、個室や共有スペースをきれいに維持するための用具などを購入させていただきました。みなさまの心温まるご厚意により、施設においても、よりよい生活が営まれていますことを心から感謝申し上げます。

カリタスの園 小百合の寮

～子どもたちに寄り添い共に歩みながら“今”の必要に答えていきます～



児童福祉法に基づき、様々な事情のために家庭で生活できない2～18歳(場合によっては20歳まで)の児童をお預かりし、カトリックの精神とドン・ボスコ教育法に基づき、ボーイズタウン・コモンセンス・ペアレンティング(R)の手法を用いて、家庭的な雰囲気での養護と自立支援を行っている児童養護施設です。

● プレゼントの使い道 ●

自転車、掃除機、デジタルカメラ、ゲームソフト、図鑑、絵本、マンガなど

今年も、皆さまより集まった多額のご寄附をいただき、子どもたちが生活する各ホームにて、必要な物や、子どもたちが楽しめる物、好きなアニメは何かを考え、写真の通り、多数購入することができました。大変感謝しております。皆で大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。

杉並学園

～「いつも明るく」「物ごとをたたくわきまえ」「そして人と仲よくできる」～



仏教精神に基づき、保護者のいない児童、
その他環境上保護を必要とする児童を入所さ
せて、養護し、自立を支援する施設です。
(概ね3～18歳)

- プレゼントの使い道 ●
夏のレクリエーション費、プリンター、消耗品

コロナの影響により中止していた各ホームでの夏のレクリエーションを、約3年ぶりに開催することができました。初めて大きなプールで泳いだり、電車に乗りながら駅弁を食べたり、みんなでキャンプファイヤーを楽しむことができました。子どもたちにとって大切な夏の思い出となりました。

また、夏の思い出を写真で残すために各ホームに写真プリンターを購入させていただき、いつでも写真を印刷することができるようになりました。皆様のあたたかいご支援感謝いたします。



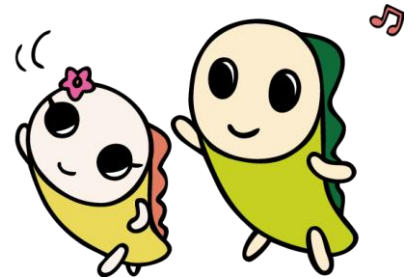
聖友学園

～すべての人の人権を尊重します～



- プレゼントの使い道 ●
子ども用自転車

児童福祉法に基づき、さまざまな事情により家庭で養育することが困難な児童（概ね2歳から18歳）をお預かりし、家庭にかわって保護・養育し自立のための支援を行うことを目的とした児童福祉施設です。児童の家庭への支援や、施設を退所した児童に対する相談、援助も行っています。



自転車はこれまで使っていたものが古くなってしまったり、成長し使用できなくなってしまうため、新しく買い替えました。子どもたちもとても喜んで自転車でお出かけしています。皆様の暖かいお心遣いありがとうございます。大切にに使わせていただきます。

聖友乳児院

～都内で最良のサービスを提供する乳児院を目指します～



児童福祉法に基づき、さまざまな事情により、家庭で育てることが困難な乳幼児をお預かりして養育することを目的とした児童福祉施設です。(2歳まで)

- プレゼントの使い道 ●
院外宿泊体験費、全体遠足費、パソコン

院外宿泊体験は秋川渓谷へ。例年10月に実施していましたが、今回は9月に実施しました。まだ暑さの残る季節のため、初めて川遊びを行いました。川の中に足を入れて、流れる川水の感触を体験したり、夜はBBQや花火などたっぷりと時間を楽しみ、日常とは異なる体験を満喫しました。

全体遠足は、大型バスを2台借りて、葛西臨海水族園へ。見送りに手を振って出発しました。色々な海の生き物を間近に見ましたが、子どもたちの中には「ニモ」と同じくらい「マグロ」の存在が濃厚に。何が楽しかった？に「マグロ」と答える子やお土産に「マグログッズ」を選ぶ子もいました。



カリタスの園 つぼみ寮

～かけがえのない一人ひとりを、温かいまなざしで、ありのままに受け入れます～

児童福祉法に基づく乳児院です。「これらの最も小さな者の一人にしたことは、すべてわたしにしたのである」とのキリストのみ言葉に基づき、カトリックの精神と家庭的な雰囲気での養育・カリタス(愛)の実践を心がけています。(2歳まで)



- プレゼントの使い道 ●

子ども用靴、タオル、エアコン、壁掛け扇風機、加湿器、浄水器など

乳幼児は一年のうちで、とても早く成長します。そのなかでも、子ども達が初めて履く靴は、その子に合った靴を選ぶことが、とても大切です。

今回は、「ちょっといい靴を！」と選んでみました。よちよち歩きの赤ちゃんも、お散歩などで一生懸命歩く姿は、ほのぼのととてもかわいいです。

また、施設の老朽化に伴い交換が必要となった家電などを購入させていただき、子ども達が安心安全で快適に過ごすことができます。いつも温かいお心遣いに感謝いたします。